

# Tudo bem? ブラジルより

学校教育課 島内三都子

★クリチバから飛ぶこと1時間、ロンドリーナに到着です。離陸後まもなく見え始める写真のような景色が、飛んでも飛んでも続きます。かれこれ40分!! ブラジルの大きさを実感しました。

ここロンドリーナは1週間の滞在で、すでに学校訪問を中心とした活動を終わりました。クリチバに比べると暑く、それでも住みやすい所だと聞いてきましたが、ひんやりした雨続きです。のんびりした街という印象ですが、残念ながらゆっくり歩いてみる時間はありません。週明けはマリンガです。



## 『いろいろな学校』を訪問しています[3]

### ◆州立学校【Colegio Estadual Marcelino Champagnat】10月1日



6年生の算数の授業を参観。初めて45分間じっくり授業を見ました(いや、「見ていようと思いました。」が正解!)。この日は計算の力を定着させるための『ドミノ』と称するゲームが行われ、いつもの自由気ままな教室の風景はなく、驚くほどの集中力、そして表情のよさにびっくりでした。

子どもたちの手作りカードには2つの数式(?)が書かれており、計算の結果が同じカードをつなげていきます。うん、これは使える! どんな計算を取り上げるかについては一考の余地ありますが、どこかでやってみたいと思えた授業、◎でした。

### ◆州立学校【Colegio Estadual Vicente Riio】10月1日

州立学校では、夕方から『セレン』と呼ばれる日本語の授業があります。在籍する生徒が60%程度で、その他に学校に勤務している人、学校外の一般の人が授業に参加しています。州の事業であり、お金はかかりません。

日本語を勉強する理由はいろいろですが、アニメから興味をもつ割合もずいぶん高いとか。“ナルト”のTシャツを着たこの少年もその一人。日本に送る新聞に写真を載せてもいいかと尋ねると、「いつか日本に行くのが夢だよ。先に写真だけ日本に行くなんてすごい!」と満面の笑みでした。「日本で待ってるよ。勉強がんばって!」



やっちゃいました!!!

## 20円のクレジット

これは、クリチバでの話。おいしそうなお菓子を発見し、購入を試みる。値段はナゾだけどもまあいいか。「ひとつちょうだい」「向こうでお金払ってきて」紙をもらってレジまで行くが、金額が聞き取れない。得意な筆談道具を持ち合わせていなかったため、高くはないと思いながらもクレジット払いを申し出る。…(お姉さんは鼻歌でクレジットを切っていた)…控えを見ると、えっ? 日本円でほんの20円。はずかしいのを通り越して笑えるばかり。いつまでも語り継がれる“20円のドーナツ”です。

とにかく必死～～

## 思いを伝える術すべ

服のサイズ表示は『P→M→G→GG』。G? GG?と悩んでいたら、「あなたはPですよ」って店員さん。違う違う、そうじゃなくて…。英語はダメ、辞書はない、困った! かなり長い時間のすれ違い会話の末、店員さんが左手の薬指を指さして「ってこと?」とジャスチャーで。そうそう、ようやく意思が伝わった。会話には創造力が大いに必要で、服を買うのも一苦労。